

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
まちづくりセンター

発行責任者  
濱崎 博

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書



学区ホームページ

創刊10年  
記念号

## 日吉台住宅地にクマ

### 住民に注意呼びかけ

## 市に被害防止の対策要望

### 自治連合会

全国的に熊による人身被害が多発、深刻な社会問題となっているが、日吉台学区でも最近、学区住宅街で熊の目撃情報が相次いでいる。学区自治連合会では住民に  
対し、夜間や早朝は、不急の外出を避け、犬の散歩やウォーキングなどの際は十分  
注意するよう呼び掛けるとともに大津市に対し、日吉台学区自治連合会として、熊  
による人身被害を未然に防止し、住民の安心、安全を確保するため「熊による被害  
から住民を守るための対策に関する要望書」を提出した。

学区では、10月13日午  
前7時ごろ、日吉台3丁  
目で、15日には、午前6  
時20分ごろ、2丁目と3  
丁目の2か所で熊らしい  
動物の目撃情報が相次い  
だ。日吉台団地内および  
隣接する同市千野などで、  
10月末頃から数件の熊、  
もしくは熊の可能性のあ  
る動物の目撃 情報が寄  
せられている。

3丁目の熊目撃情報は、  
犬の散歩中、道路に落ち  
ていた柿を食べている体  
長約1メートルほどの熊を目撃。  
現場の道路には、動物が  
かじったような柿が散乱

していたという。目撃通  
報を受け学区自治連合会  
では、各自治会長、関係  
機関に緊急でメール連絡、  
学区自主防犯による広報  
車からの注意呼びかけが  
行われた。

こうした熊目撃情報に  
対し、11月15日開かれた  
学区自治連合会役員会で  
も論議され、住宅街で熊  
出没していることを重視、  
大津市に対策を求める要

要望書提出となったもの。  
要望書では、①熊の目  
撃情報の共有体制の構  
築②通報体制の明確化  
と周知③熊目撃情報の  
公開の迅速化④市独自  
の熊対策の検討と実施  
―等を求めた。

### 個人情報保護方針改訂

取り扱いは従来と不変

日吉台学区の個人情  
報の取り扱いをまとめ  
た学区自治連合会個人  
情報保護方針（プライ  
バシーポリシー）を改  
訂することになり、改  
訂方針案が11月15日開  
催の学区自治連合会役  
員会で承認、同日付で  
施行された。この保護

## まちづくりカンパニー、活動休止へ 使命終え、事業継続は未定

学区のまちづくり活  
動方針などを提言、実  
践してきた「学区まち  
づくりカンパニー」  
（濱崎博会長）は、令  
和7年度をもって組織

活動終了方針を決め、11  
月15日開いた学区自治連  
合会定例役員会に報告、  
約12年間におよびまちづ  
くり活動に終止符を打つ  
ことになった。

区のまち協は、平成31年、  
まちづくりカンパニーと  
名称をあらため組織体制  
を移行した。

活動の歴史を振り返る  
と、日吉台幼稚園跡地に  
認定こども園設置の原動  
力となった「幼児教育施  
設の存続と認定こども園  
への転換を求める請願書」  
の提出活動、日吉台バス  
通りの街路樹周辺の円筒  
ブロックの除去、滋賀銀  
行や江若交通との定期懇  
談、自治連改革の提案、  
学区の空き家対策事業、  
日吉台新聞発行、野菜マ  
ルシェ、日吉台コンサー  
ト、コミュニティカレッ  
ジなどの活動を行ってき  
た。

まちづくりカンパニー  
では、学区住民の間で、  
活動継続を望む声が強い

## 創刊10年によせて

### 日吉台新聞編集長 野々口 義信

地域に寄り添い歩み続けて  
10年。日吉台新聞は、令和7  
年12月号で創刊10年、120  
号を迎えました。記念号とし  
てカラー紙面をみなさまのと  
ころへお届けい  
たしました。

半世紀におよ  
ぶ記者生活に終  
止符をうち、こ  
の日吉台を終  
棲家として移り  
住みました。まちづくり活動  
をして、今ひとつ情報の伝わ  
りが乏しいのかな、と感じ地  
域コミュニティ新聞の発行を提  
案。平成28年1月、日吉台新

聞が創刊されました。  
月に一度の発行。丸10年、  
120号を通じての新聞づく  
り。この10年、日吉台のまち  
では、さまざまな出来事があ  
りました。日吉台幼稚園廃園  
に伴う認定こども園誘致活動、  
市民センターのコミュニティー  
化に伴う市民センター改革案、  
空き家対策問題、自治連改革

今、日吉台は、高齢化によ  
る担い手不足、歯止めがかか  
らない自治会離れなど課題は  
山積。そんななか、この日吉  
台新聞を発行する「学区まち

性化に役立ちたい」。決意を  
あらたにしているところです。

日吉台新聞の発行で  
「日吉台のまちの活  
動になりそうです。  
紙面をお届けでき  
ることを祈ります。

日吉台新聞発行、野菜マ  
ルシェ、日吉台コンサー  
ト、コミュニティカレッ  
ジなどの活動を行ってき  
た。

まちづくりカンパニー  
では、学区住民の間で、  
活動継続を望む声が強い

## もちつき、どんど焼きまつり

### 1月10、11日開催

新春恒例風物詩、「もち  
つき大会」と「どんど  
焼きまつり」（日吉台夢・  
未来事業推進委員会主催）  
が1月10、11日の両日、  
日吉台小で開かれる。  
もちつき大会は、10日  
の土曜日午前10時、小学  
校体育館、中庭で開催。  
餅米約30キを子どもたち  
を含めみんなでお餅をつく。  
「どんど焼きまつり」  
は、11日の日曜日の午前  
10時同小グラウンドで開  
催。どんど焼きに使うし  
め縄や書初め、正月飾り  
は、各家庭から持参して  
もらい、残り火でお餅な  
どを焼く。雨天の場合は、  
12日に順延。  
問い合わせは、同事業  
推進事務局の山本由美  
さん（090・4279・  
8798）まで。





# 雨にもめげず日吉台まつり

## ずぶ濡れのステージ、熱演

学区住民が楽しみにしていた令和7年度「第27回日吉台まつり」は、11月26日、日吉台小グラウンドで開催された。あいにく当初予定していた本番、順延予定日も雨の予報。実行部会担当者らは難しい判断を迫られ開催を決めた順延日も雨中の開催となり、小学校グラウンドもぬかるみ状

態。悪いコンディションにもかかわらず大勢の住民が会場につめかけ、出店ブースでの買い物やステージで繰り広げられるバラエティに富んだ子どもたちによるダンスパフォーマンスなど、歌って踊って盛り上がりを見せた。

午後4時、校庭に半円形に並んだ出店ブースが開店。同時に、ステージでは、バンド

演奏や、お嬢サンバ、オバサンバチームによる子どもから大人までみんなで楽しめるリズムカルな演舞ほか今年からハロウィンコンテストも登場。楽しい催しが繰り広げられ、まつり終盤ころになって雨もあがり、みんなマツケンサンバを踊って、まつりの幕を降ろした。

## ぬかるむグラウンド、出店ブースに長い列



日吉台まつりのステージで熱演する子どもたち



傘をさし出店ブースにならぶ学区民のみなさん

## 学区で市総合防災訓練 雨中、被害に備え真剣そのもの

令和7年度の大津市総合防災訓練が11月9日、日吉台小学校を主会場に学区周辺で行われた。市が年に一度、市内学区を持ち回りに各防災機関、関係団体、企業、学区住民らが参加して行う大規模訓練。この日は朝から雨が降り続き主会場の小学校グラウンドはぬかるみ状態。想定どおりの雨のなかでの訓練となった。

午前8時半、大津市を震源とするマグニチュード7・8の直下型地震が発生し、市北部地域で震度7を観測。その後の降雨で土砂災害発生の危険が高まる。この地震と降雨で日吉台学区を中心に家屋の倒壊、同時火災の発生、道路の損壊、土砂災害等で多数の死傷者が発生したとの想定で行われた。

学区各丁では、安否

### 日吉台チームGG大会優勝 中北部体育団体協

大津市の中北部地区体育団体連絡協議会のグラウンドゴルフ大会が11月2日、比叡平民グラウンドで開催、同大会に出場した日吉台チームが優勝した。

同大会には、同連絡協議会加盟の市内中北部7地区のチーム約30人が参加。優勝した日吉台チームは、岡嶋厚子さんを監督に森本祐

司さん、藤田保雄さん、濱崎順子さんの3選手。



優勝した日吉台チームのメンバー

### クリスマスコンサート

日吉台合唱団

日吉台合唱団（田中真澄団長）12月恒例の「日吉台合唱団クリスマスコンサート」が12月20日、日吉台市民センター大会議室で開催される。

1時30分後



開場、同2時開演。入場無料。

曾田俊和さん、西谷真理子さん指揮、松田みゆきさんのピアノ演奏。披露される合唱曲は、「心の四季」より「金色の実」「忘れなぐさ」ほか。

2025年12月20日(土)  
開演 14:00 (開場 13:30)  
日吉台市民センター 大会議室  
お問い合わせ 電話 077-574-7761 田中真澄団長  
※当日の行事は二階ホールで行います



雨中、日吉台小グラウンドで繰り広げられる市総合防災訓練

確認訓練、日吉台市民センターでは、学区自治連会長、学区自主防災会長、消防分団幹部らが参集、学区の安否確認、被害状況等の情報収集、避難誘導などについて総合指揮する学区対策本部訓練、主会場の日吉台小グラウンドでは、土砂災害からの救助訓練や消火活動の訓練など本番さながらの訓練を展開。体育館で実施された避難所開設訓練では雨空にもかかわらず多くの住民が参加、被害に備え真剣に取り組む姿がみられた。